

程度の大きさを表す形容詞に関する一考察

－「すごい」・「ひどい」・「はげしい」を中心に－

金英児*
larecancile@hanmail.net

〈目次〉

- | | |
|---------------------------|---------------------------|
| 1. はじめに | 4. 「すごい」・「ひどい」・「はげしい」の相違点 |
| 2. 対象の概観 | 4.1 動作性と状態性 |
| 2.1 辞書の意味記述 | 4.2 評価性 |
| 2.2 「すごい」の特徴的な用法 | 4.2.1 「ひどい」の論理性 |
| 3. 「すごい」・「ひどい」・「はげしい」の共通点 | 4.2.2 「すごい」の恐ろしさ・驚き |
| 3.1 程度大 | 4.3 形容詞の副詞的な用法 |
| 3.2 動きを伴う程度 | 4.4 文体的な特質 |
| | 5. おわりに |

主題語: 程度(Degree)、類義語(Synonym)、形容詞(Adjective)、韓国人日本語学習者(Korean learner of Japanese)、語彙教育(Vocabulary teaching)

1. はじめに

韓国における日本語の形容詞の研究は、統辞論的研究、形容詞の下位分類、語彙論的な立場からの韓・日両国語の形容詞の意味の対応、語構成に関する対照研究が行われている。その研究対象をみると、主に感情形容詞である。また、形容詞の研究方法において、シソーラスの意味体系に当たる形容詞を対応させ、相当する分野別の語彙の量をはかり、その特徴を記述する計量的な研究が一般的であったため、意味論的かつ構文論的な立場からの統合的な形容詞研究に限界があった。(金、2017: 349-350)

近年、形容詞の研究は進んでおり、その中、意味論的な立場から感覚形容詞を対象にその類義語との意味・用法を実例に基づいて明らかにした上で、対応する韓国語の類義語との比較を行った研究(金、2017)、属性形容詞を研究対象にして個別的な形容詞の意味・用

* 圓光大学校 師範大学 日語教育科 助教授

法や類義関係を持つ形容詞を分析した研究(金、2018)、コーパスを利用して形容詞の使用傾向を調査・分析した研究(玄、2021)などが行われ、従来の形容詞研究の研究方法が多様性を持ち、その対象範囲も広がっている。

日本語教育においては、高校日本語教科書を対象にして、い形容詞の文型の変遷を分析した研究(奥、2013)と高校日本語教科書の形容詞(い形容詞・な形容詞)の活用表の変遷過程を分析し、問題点を考察した研究(張、2018)、韓国人日本語学習者の作文を研究対象にして、い形容詞の使用と教師によるフィードバックの影響を分析した研究(曹、2016)、な形容詞の使用実態から誤用を分析した研究(丞、2018)、な形容詞の種類と使用頻度を分析し、誤用が起りやすいな形容詞との関連性を明らかにした(丞、2019)研究が挙げられる。このように、日本語教育研究での形容詞の研究は、研究対象が高等日本語教科書と学生の作文に限られており、日本語の語彙教育のための類義語の形容詞の研究はあまりなされていない現状である。

したがって、本稿では、韓国人日本語学習者を対象とした日本語形容詞の語彙教育における研究の一環として、形容詞の中、日常会話でもっとも使われ、初級段階から学習する「すごい」を取り上げて、その意味・用法ならびに程度の大きさを表す面で類義関係を持つ「ひどい」「はげしい」との意味・用法を実例に基づいて比較・分析し、共通点と相違点を明らかにしたい。用例は、朝日新聞の「聞蔵」と読売新聞の「ヨミダス博物館」(1900年1月1日~2021年10月1日)、YAHOO! JAPAN ニュースの検索から抽出した。

2. 対象の概観

2.1 辞書の意味記述

各語について、現代語を対象としたいくつかの辞書を参照する。

【すごい】

『岩波国語辞典』(第六版、岩波書店、2000)〔形〕 ぞっとするほど恐ろしい。(ぞっとして)おそろしくなるほどすぐれている。転じて、**程度がはなはだしい**。

『集英社国語辞典』(第二版、集英社、2000)〔形〕 ぞっとするほど、恐ろしく気味が悪い。 **程度がはなはだしい**。(「すごく」の形で副詞的に)たいそう。たいへん

『明鏡国語辞典』(初版、大修館書店、2003) 物事の**程度が甚だしく**尋常でないさま。ものすごい。感嘆に値するほどすばらしい。身震いするほど、恐ろしいさま。すさまじい。

『デジタル大辞泉』(小学館)[形]1. ぞっとするほど恐ろしい。非常に気味が悪い。2. びっくりするほど**程度がはなはだしい**。並外れている。大層な。1)

【ひどい】

『岩波国語辞典』(第六版、岩波書店、2000)[形] 残酷だ。むごい。 **はげしい**。 **はなはだしい**。 > 「非道」の形容詞化。

『集英社国語辞典』(第二版、集英社、2000)[形] 残酷だ。むごい **甚だしい**。 **激しい**。 悪い程度が大きい。 > 「非道」の形容詞化

『明鏡国語辞典』(初版、大修館書店、2003) 非情で道義にはずれるさま。残酷だ。むごい。
程度がはなはだしい。表現多く悪い意味で使うが、「喜びようだった」「・く懐かしがる」のようにいい意味で使うこともある。ものの状態や出来などがはなはだしく悪い。

『デジタル大辞泉』(小学館)[形]《名詞「非道(ひどう)」の形容詞化》1. 残酷である。むごい。2. 度を超している。**はなはだしい**。3. 程度が非常に悪い。2)

【はげしい】

『岩波国語辞典』(第六版、岩波書店、2000)《形》勢いが鋭く強い。**はなはだしい**・しきりに行われる。しきりに怒る。

『集英社国語辞典』(第二版、集英社、2000)**程度が甚だしい**。勢いが強い。

『明鏡国語辞典』(初版、大修館書店、2003) 勢いがきわめて強いさま。感情・性質などが荒々しいさま。激情的である。 **程度・頻度などがはなはだしい**。

『デジタル大辞泉』(小学館)1. 勢いがたいへん強い。2. **程度が度を過ぎてはなはだしい**。 **ひどい**。
3. 行われる回数が驚くほど多い。非常に頻繁である。4. けわしい。3)

このように日本語の辞書類の説明においては、三語ともに程度の甚だしさを表すと説明されている。また、「ひどい」の説明に「はげしい」が用いられ、「はげしい」の説明に「ひどい」が挙げられているように、この三語の使用上、また、意味的な近似が窺える。

1) <https://dictionary.goo.ne.jp/word/%E5%87%84%E3%81%84/#n-118076>

2) <https://dictionary.goo.ne.jp/word/%E6%BF%80%E3%81%97%E3%81%84/#n-175577>

3) <https://dictionary.goo.ne.jp/word/%E6%BF%80%E3%81%97%E3%81%84/#n-175577>

2.2 「すごい」の特徴的な用法

「すごい」は連用形の「すごく」と同じように「すごい」の形で連用修飾して副詞的に用いられる特徴的な用法がある。

- (1) 即戦力として期待される左腕は「すごいいい感じで投げられた。無理しない程度に上げていこうかな、と思ってる。」 (読売 1998.02.12.)
- (2) 「バイオリンの次に読書が好き」と言う妃鞠(ひまり)さんは、チャイコフスキーの伝記を読み、「すごい苦しい人生だったけど、協奏曲はスイスのテンポで書かれているのですすごい美しい感じ。生涯を知っているとより表現できる」と話す。 (朝日 2021.06.24.)
- (3) 「ごはんが甘くて、すごいおいしい。」 (朝日 2021.09.14.)
- (4) 北欧の小さい町はすごい元気です。 (朝日 2021.03.22.)
- (5) 広瀬：そうですよね。今回、櫻井さんはポンコツ探偵という役柄で、「櫻井さんがポンコツってどうなんだろう」と思ってたんですけど、ポンコツの顔がすごい上手で(笑)、ムムムっていうポンコツ顔を、リハーサルからナチュラルにされてたので、想像以上に面白い人なんだろうなって思います。 (朝日 2021.04.06.)
- (6) 今回のインタビューでは、“母親”としてSHELLYの一面にも迫った。自身の子育てについて「厳しいけどメリハリがあると思う。楽しい時はすごい楽しい。わざと悪いことをした時はすごい叱る。わざとじゃない時は怒らないようにしている」と明かす。愛娘2人と生活をともにし、「子供が思わぬことを言ってきたときが一番楽しい」と明かす。まさに先ほど言った『お母さんの仕事はもっと簡単だと思ってたけど、すごい大変なんだね』とか。『そんなこと言うの?』って(笑)』と、その成長には驚きの連続だという。

(<https://news.yahoo.co.jp/articles/196fa6e8118cfaf89a2b9899ef13b3dd4be18c72?page=2>)

「すごい」の形で例(4)以外は会話文の中で(1)「いい」、(2)「若い」・「美しい」、(3)「おいしい」の「い形容詞」を修飾し、(4)「元気」、(5)「上手」の「な形容動詞」を、(6)では、「楽しい」「大変」「叱る」形でい形容詞、な形容詞、動詞を修飾している。このような「すごい」の連体形を副詞的に用いる用法の辞書の記述をいくつかみると次のようになる。

『明鏡国語辞典 第二版』：話し言葉では、「すごい」を「すごく」と同じように連用修飾に使うことがある。

『岩波国語辞典 第七版』：俗用ながら口頭語では「今朝はすごい寒い」など連体形を使うのが普通になった。

『デジタル大辞泉』：俗に連体形を副詞的に用いて「すごいおもしろい人だ」のような言い方もある。「すごい」の用法「すごい」の形を「絵がすごいうまい」「すごい若い」のように副詞的に用いることがある。「すごく」の[補説]

『現代形容詞用法辞典』：「すごい」は本来形容詞であるが、最近若い人の間では（「こないだ、通りですっごい大きい犬を見たわ。」）のように、他の修飾語にかかる副詞のように、活用させずに用いられる用法が増えている。

辞書では「すごい」が連体形で「すごく」と同じように副詞的に用いられ、「とても・非常に」の意の「話し言葉、俗語、日常語、若者言葉」的な言い方で新しい表現であると説明している。

程度修飾に用いられる「すごい」の副詞的用法に関しては、増井(1996)、Mori(2011)、中尾(2014)、王・方(2015)、佐野(2018)など研究が進んでおり、大きくは、第一に、歴史的な変化の結果、第二に、若者言葉で程度の強調語、第三に、程度副詞として認める立場の三点に分けられる。

「すごい+用言」形は「すごい」の特徴として重要な用法であるが、本稿では、「ひどい」「激しい」との類義関係を中心とした考察であるため、この点についての個別的な考察は割愛したい。

3. 「すごい」・「ひどい」・「はげしい」の共通点

3.1 程度大

「すごい」・「ひどい」・「はげしい」は、程度が尋常ではない、普通には考えられるより甚だしいことを表す。用例(7)は、三語が近接したところに使われている例であり、(8)は「激しい」と「ひどい」が近接した例である。

- (7) 聴覚過敏、進まぬ理解 乳児虐待事件、被告に症状 / 茨城県
周囲の音を大きく感じ、激しい苦痛や不快感などを感じる「聴覚過敏」= キーワード= に悩まされる人たちがいる。(中略)県内に住む50代の会社員男性も同じ原因の聴覚過敏を抱え、職場で机の引き出しを閉める音を苦痛に感じたり、普通の会話が怒鳴り合っているよ

うに聞こえたりする。「ひどい時は騒音がすごい工場にいる感覚。乳児の泣き声は耳に突き刺さるように聞こえる」誰かが自分に呼びかける声などは聞き取れる一方で空調音などの騒音を打ち消す「デジタル耳せん」を使ったり、家では静かな部屋に移ったりして暮らし、現在も治療を続ける。(朝日 2020.09.04.)

- (8) 漢方薬で抗がん剤の副作用を緩和する研究は、近年、活発に行われている。消化器症状に効果があるとされる「半夏瀉心湯(はんげしゃしんとう)」では、激しい下痢が減った、ひどい口内炎が起きる期間を縮めた、という成果が報告されている。(読売 2020.02.26.)

用例(7)では、「激しい」は、聴覚過敏で普段は何でもない周囲の音が我慢できないほど大きく感じられ、苦しい状態が続いて伴われる「苦痛」の程度が甚だしいことを表し、「ひどい」は普段の症状より甚だしく悪い時を、「すごい」は、「職場で机の引き出しを閉める音」、「普通の会話」のような大抵の人にとって、普通に感じられる程度の騒音が機械の騒音や人の出入りが多い「工場にいる」ように感じられるほどの程度の甚だしいことを表している。(8)では、「激しい」と「ひどい」が副作用により、度を越えた「下痢」と「口内炎」の程度であることを表している。「すごい」「ひどい」「はげしい」は共通的に程度が大きいことを表している。

3.2 動きを伴う程度

「すごい」・「ひどい」・「はげしい」は、動きのある名詞や動作と結び付いて、動きや程度が大きいことを表す。

- (9) 「すごい雨」土砂崩れ 県道通行止め、床下浸水も 鳥羽 / 三重県
17日にかけて大雨に見舞われた伊勢志摩や東紀州地方。鳥羽市内では、土砂崩れで民家に被害が出たほか、県道が通行止めになっている。「すごい雨だった。2時ごろ、大きな音がしたらこんなことになっていた」。(朝日 2021.08.18.)
- (10) 中国「ひどい干渉」(見出し)
中国外務省の趙立堅副報道局長は13日の会見で、「台湾は中国領土であり、台湾問題は完全に中国の内政(問題)」と強調。白書の内容について「中国内政にひどく干渉し、いわゆる中国の脅威をあおっている。極めて誤った無責任なやり方だ」と強く反発した。(朝日 2021.07.15.)
- (11) 大阪大学教授で社会学者の山本(やまもと)ベバリーアンさん(60)は、8年前に遺伝性血管性浮腫(HAE)と診断された。突然、顔や手足、おなかなどがはれて、激しい痛みに襲われる

病気だ。 (朝日 2020.10.05.)

(9)では、土砂崩れという動きを伴う大雨の驚くほどの甚だしい程度を、(10)では中国が日本の防衛白書の素案に対して、中国内政にひどく干渉している動作性があることの程度が甚だしく悪いことを、(11)では、「激しい」が「はれる」即ち炎症という律動的、鼓動的な痛みを伴う動きのある「いたみ」の程度を表している。

(12) 「水俣の入り江は潮の干満で毎日2回、すごい勢いで洗われる。この海は死んでなどいない。必ず回復すると思った」。 (読売 2021.09.25.)

(13) 詩梨ちゃんの体重はわずか約6キロ。同年代の平均の半分以下だ。遺体には激しい虐待の痕跡があった。複数のやけど痕や頭蓋骨の骨折、胃から見つかった香辛料入りの調味料——。(中略)家庭という密室で起きる虐待事件は、発覚しづらい。どんなにひどい暴行を受けていても、親をかばおうとする子どももいる。 (読売 2019.12.10.)

(12)では、「すごい」が「勢い」、(13)では「はげしい」が「虐待」、「ひどい」が「暴行」のように、三語が共通的に動きのあるものと結び付けて程度の高さを表している。

4. 「すごい」・「ひどい」・「はげしい」の相違点

4.1 動作性と状態性

「すごい」・「ひどい」・「はげしい」は、動きのある程度を表すことができるが、「すごい」と「ひどい」が動きを伴わない状態性も表す一方、「はげしい」は、動きを内包した事柄・自然現象・性質に用いられる特質がある。

(14) 関西の民放各局が激しい視聴率争いを繰り広げる平日夕方の報道情報番組が、相次ぎ放送開始時間を前倒している。 (朝日 2021.08.23.)

(15) 明豊(めいほう大分)の幸(ゆき)主将は、雨天順延にも「初戦に向けてやることは変わらない。しっかり練習ができた」と冷静だった。冬の間、チーム内で激しいレギュラー争いをしてきたという自信がある。 (朝日 2021.03.22.)

「はげしい」は、(14)「視聴率争い」、(15)「レギュラー争い」といった競争的な事柄、即ち動作性を内包するものに対して強く対応していくことを表している。

次の例は、「はげしい」と「ひどい」が近接した例である。

- (16) 大阪大学教授で社会学者の山本(やまもと)へンバリーアンさん(60)は、8年前に遺伝性血管性浮腫(HAE)と診断された。突然、顔や手足、おなかなどがはれて、激しい痛みに襲われる病气だ。診断までの40年、12歳から原因不明の症状とつきあってきた。(中略)この症状はいつ始まるかわからない。ある時は30時間、吐き続けた。いつもより痛みがひどいので、病院を受診すると、救急外来の医師からこう告げられた。(朝日 2020.10.05.)

「はげしい」はずきずきと長く続く動きを中に含んだ「痛み」を表し、「ひどい」は普段より度を越えた悪い状態であることを表している。

- (17) 映画では「何年間も雨が降り続く」という想定で、我々が生きている間にそうなることは多分ないとは思いますが。一方で、映画が公開された2019年の台風19号では、東日本を中心に100人を超す死者・行方不明者が出る豪雨となりました。短期的にすごい大雨になることは十分に考えられます。約40年間のアメダスのデータを使って、「非常に激しい雨」と「猛烈な雨」(1時間に50ミリ以上)の発生回数を見ると、最近10年の平均は、統計開始10年間(1976~85年)の平均の約1.5倍に増えています。(朝日 2021.04.04.)

(17)「すごい」は、短い期間に大雨になった状態にぞっとする、驚きの気持ちが含まれており、「激しい」は、「1時間に50ミリ以上の発生回数」からかなりの持続的な変化・差によるダイナミックな関係を表している。

- (18) 高校卒業後、小田さんの店で働きながら通信制の美容学校で学び、3年で美容師免許を取得した。小田さん率いるチームの一員としてパリコレに参加する機会にも恵まれた。人の入れ替わりが激しい業種だが、食らいついて12年間働いた。(朝日 2021.02.12.)
- (19) 東日本大震災がさらに絆を深めた。「今日は、斉昭の誕生日ですね」と事務所準備していた時、激しい揺れが襲った。柱だけを残して崩れた壁もあった。(朝日 2021.03.07.)
- (20) この秋、スリランカの話をかれらにしようと思う。その長い歴史、複数の言語と文学、激しい内紛の後山積する問題に向き合いつづける人々のことを。(朝日 2021.09.08.)

「はげしい」は(18)「業種」、(19)「内紛」のように、人の入れ替わりや内部での争いといった動き・動作がある変化や(20)地震の「揺れ」のような振幅のある動きが類推される動作性がある事柄に用いられる。

4.2 評価性

4.2.1 「ひどい」の論理性

「ひどい」は「非道」から形容詞化したもので、「非道」の「人としてのあり方や生き方にはずれていること。また、そのさま。」(デジタル大辞泉)、「道理でないこと。道にはずれること。非理。また、人情にはずれること。常識では考えられないようなひどいこと。また、そのさま。」(『精選版日本国語大辞典』)という語源的な意味が「ひどい」に入っている論理性が絡んでくる。

- (21) まるでユーチューバーだが、実態は、「マネジャーや旦那が勝手に動画を撮り、息子が編集し、いつのまにかアップされている」のだとか。「メイク動画のひどいサムネイル画像を選んだのも息子。**悪意を感じますね(笑)**。みんな私をおもちゃにして遊んでるんだから。(朝日 2021.06.04.)
- (22) 山藤 僕の主観でいくと、今年の惨状、このひどい目に遭っている日本で開催するのはぜいたくかな。(朝日 2020.12.25.)
- (23) 新型コロナウイルス蔓延(まんえん)対策として導入された大学のオンライン授業は、一方的でひどいという意見もあるが、じつはこれは形式の問題ではないとわたしは考えている。(朝日 2021.09.08.)

(21)では、笑いつつも「ひどいサムネイル画像を選んだ」息子の行為が「悪意を感じる」という表現であること、(22)では、コロナ禍で痛ましい「今年の惨状」=「ひどい目に遭っている状態」で非常に好ましくないことを慣用的に表している。(23)では、一方的に行われる「オンライン授業」に対して対面授業での相互フィードバックが成立する授業ではないことから被害を受けていることを表している。特に人間に対する行為に関するものはマイナス的な評価に使われる。

- (24) ひどい言葉を投げかけられてもそのまま受け取らず、裏にある意味を考えろと言いました。(朝日 2021.03.20.)

- (25) ひどい食生活のためか便秘がひどくなりました。結局私が、便を取り出す「摘便」をする羽目に。そのときも「痛い」「やめろ!」と大騒ぎでした。年若い母による介護も限界に達していました。私は父に「死んでくれ!」と泣きながら何度言ったことか...。地獄のような毎日でした。(朝日 2021.04.03.)

(24)では、いじめによる無慈悲で残酷な言葉、(25)では、娘が父の介護に限界を感じているのに、今まで自分勝手に生きていた父が好きなものばかり食べ、健康状態が悪化する食生活を続けていることへの否定的なマイナス評価に用いられている。

4.2.2 「すごい」の恐ろしさ・驚き

「すごい」は『日本国語大辞典』(2003、第二版)によると、「1.ぞっとするほど恐ろしい。気味が悪い。鬼気迫るようである。2.ぞっとするほどさびしい。3.ぞっとするほど美しい。戦慄を感じさせるようなすばらしい風情である。4.あまりにその程度がはなはだしくて、人に舌をまかせるほどである。5.(連用形を副詞的に使うことが多い)程度のはなはだしいことを表す。たいへん。たいそう。とても。」のように、連体形と終止形で用いられ、ぞっとするほどおそろしいさまや驚き、感嘆・賞賛のような気持ちが含まれて表れると説明されている。

- (26) 馬乗りになり、女性に包丁を突きつける男に蹴りかかる――。こんな勇敢な行動で、殺人未遂事件の容疑者の逮捕に貢献したとして、千葉市若葉区の介護ヘルパーの山口詔子さん(63)に県公安委員会から感謝状が贈られた。(中略)中村弘・前署長は「刑事たちも『すごい勇敢だ」と驚くくらい勇敢な行動で被害者の命を救ってくれた」と感謝した。山口さんは「一瞬ちゅうちょしたが、助けないといけないと思った。男が逮捕されるまで手が震えていた」と当時の緊迫した状況を振り返っていた。(朝日 2021.03.09.)
- (27) タレントの研ナオコさん(67)が2月に自身のYouTubeチャンネルで公開したメイク動画が大きな話題を呼んだ(96ページの写真)。完全なるすっぴんからゴージャスフェイスに変身する過程に、「ギャップがすごい」「美意識が素晴らしい」など称賛のコメントが相次ぎ、再生数は400万回を超えた。(朝日 2021.06.04.)
- (28) この格闘技との出会いが小学1年の時。既に十数年の競技歴があった父の利彦さん(41)に連れられ、競技の普及に努める「ゲトカボエイラ日本支部」(金沢市)の体験教室に参加した。同年代の子たちがクルクル楽しそうに回る光景に心を奪われ、「自分もあんな風にすごい技をしてみたい」と決意した。(朝日 2021.03.08.)

(26)では「すごい」が会話文で「な形容詞」にかかる修飾語で用いられ、女性に包丁を突きつけようとしている男をけり、被害者の命を救った勇気のある行動に対して驚きと称賛の感情が含まれている。(27)では、述語で用いられる例で、素っぴんからゴージャスフェイスに変身したその差が甚だしいという感嘆の気持ち、(28)では、同年代の子たちの格闘技をみて感動したプラス評価に用いられている。

- (29) 眞子内親王と小室圭さんの結婚問題がこれほど大きな話題となるとは、/当初は小室さんの母親の元婚約者に対して、訝しく見る向きもあったようだが、いまや小室バッシングばかりが目立つ状況だ。コロナ疲れの格好のはけ口となっている感も否めないものの、義父になるはずの人から「(一連の騒動に)納得いく説明を」と求められた答えがA4用紙計28枚、4万字。長さもすごいが、概要をつけるというビジネスライクさも不思議だ。

(朝日 2021.04.30.)

- (30) 最近、相手のミスなのに振りまわされて、自分の都合ばかり言ってくる方がいて、それを指摘したところ、すごい剣幕で怒られました。

(朝日 2020.11.07.)

- (31) 県内では8月21日、宿泊療養施設で受け入れきれない感染者の自宅療養が始まった。県の施設を統括する県医療・検査体制対策室の加藤一郎室長は「自宅療養はリスクが高く、最後のとりでになろうと(県全体でベッド数を)増やしてきた。自宅療養が始まったとき、こんなにあっさり崩れてしまったと、すごい敗北感があった」と振り返る。(朝日 2021.09.14.)

(29)では義父になる人から一連の騒動に対して説明を求められた際の小室氏の答えが度を越えた量であることに驚き、こうした不気味で不可解な気持ちからくる恐れが含まれていると見ることができる。(30)では、相手のミスを指摘したことで恐ろしく感じるほど荒々しい態度や顔付きで怒られたマイナス評価に用いられている。(31)では、「医療崩壊」を防ぐために宿泊療養施設を増やしているのに、新型コロナウイルスの患者が急増し、施設にも受け入れきれず自宅療養が始まったことで、家庭内での感染が増え、医療崩壊になってしまったことに感じた挫折感が甚だしいものであるというマイナス評価に用いられている。

以上のように、「すごい」はプラス・マイナス評価に恐ろしさ、驚き、感嘆などの主観的な感情が含まれており、「ひどい」は残酷さ、被害、不気味・不快感のようなマイナス的な主観的評価が含まれ、程度の甚だしさを表している。

続いて、「はげしい」の用例をみってみる。

- (32) 国軍による拷問について、国際人権団体ヒューマン・ライツ・ウォッチは6月22日の報告書で「拘束された市民の多くが拷問や日常的な暴力にさらされている」と非難した。(中略)90拘束中に死亡する事案も相次いでおり、国連人権高等弁務官事務所は3月、「拷問を示唆する激しい身体的虐待の証拠が犠牲者の遺体に残されていた」と指摘していた。

(朝日 2021.06.04.)

- (33) 未指定文化財を救え豪雨被害で激しい傷み廃棄防止へ県対応急ぐ(見出し)

(前略)19年4月の改正文化財保護法の施行で、文化庁は未指定を含めた文化財を「地域社会総がかり」で保存、活用することを求めているが、今回の豪雨では、浸水で泥水をかぶり、傷みがひどい文化財が多いとみられ、時間が経過するほど処分されるリスクが高まる。

(読売 2020.08.07.)

用例(32)では、国連人権高等弁務官事務所からの客観的な指摘に用いられて、驚きや被害などの主観的な感情的要素を入れず、客観的な状態を表している。(33)では新聞の見出しと本文とで「はげしい」と「ひどい」を効果的に使い分けた例で、「ひどい」は文化財の傷みの程度が非常に悪く被害を受けたことを強調して表しているのに、見出しの「はげしい」は、結果的にはマイナス評価になるが、豪雨被害による痛みがかなり大きいことを客観的に表しているので、「はげしい」という表現自体はニュートラルである。

4.3 形容詞の副詞的な用法

『小学館日本語新辞典』(初版、小学館、2005)では、「すごい」の項目で、「普通の程度をはるかに越えている驚くほどである。「すごく」の形で副詞的にも用い、強調して「すっごく」ともいう」と説明しており、「ひどい」の項目で、「程度が甚だしい。多く好ましくない事柄について言う。「ひどく」の形で副詞的に用いるときは好ましいことにもいうが、俗語的になる。」と説明している。このように、「すごい」と「ひどい」は、「すごく」と「ひどく」の形で副詞的に用いられ、程度が甚だしいさまを表す形容詞の副詞的な用法が見られる特徴がある。

まず、現代語を対象にした辞書を参照すると次のようになる。

『新明解国語辞典』(第四版、三省堂、1989)

- ・すごく【凄く】(副)[とても・非常に]の意の口頭語的表現。[若い世代に用いられる強調表現は「すっごく」]

- ・ひどく (副)その程度が・常識(予想)を上回ることを表わす。
『デジタル大辞泉』
- ・すごく 副 《形容詞「すごい」の連用形から》程度がはなはだしいさま。とても。
たいへん [補説]話し言葉で使われることが多い。4)
『三省堂 大辞林』
- ・すごく(副)[形容詞「すごい」の連用形から]程度がはなはだしいさま。大変に。
大層。非常に。主に会話で用いられる。
『明鏡国語辞典』(初版、大修館書店、2003)
- ・ひどく 副 程度のはなはだしさ。非常に》形容詞の「ひどい」の連用形から。

現代語のこのように、「すごい」と「ひどい」は形容詞の副詞的な用法として、口頭語的な表現で「すごく」と「ひどく」が副詞的に用いられ、辞書によって、形容詞の連用形から副詞化した形で、副詞として項目を立てている。

- (34) あとは、ロマンチックなシーンでも、いい意味でムードがなかったのが a. すごく やりやすかった。男女問わず、撮影前に雰囲気を作る方っていらっしやるじゃないですか。/でも橋本さんはそういうのが全くなくて。監督から「用意、はい!」と言われるまでは b. すごく 自然体で、合図がかかると一瞬で切り替えて役に入り込む。 (朝日 2021.08.27.)
- (35) 《時折、ほんとうに、世界の重しが自分の肩にのっているような気がする。すごく きついんだ。ハハ》/米メディアはバイルスの棄権を一斉に速報した。ワシントン・ポストのスポーツ記者は27日(米東部時間)、「彼女は汚れたスポーツを救う使命を帯びた英雄であり、ジェンダーと人種までも背負っている」と指摘。 (朝日 2021.07.30.)

(34)(35)は、インタビューで「すごく」が用いられた例であり、「すごい」が本来の意味ではなく、(34)a.「やりやすかった」状態が非常に予想外である程度の甚だしさを強調し、(35)では、アメリカのバイルス選手がプレッシャーを受け止めようとしているきつい状況が常識(基準)を越えて極端で非常に程度が強いことを表している。

「ひどい」は語源的な論理性により、人と人とのやりとりに関連してでてくるものに対して、「道にはずれること」や「常識では考えられないようなひどいこと」を表すが、程度が段階的に移っていく状態・さまを表す場合、「ひどくおもしろい」「ひどく美しい」のようにマイナス意味はほとんどなくなり、程度の甚だしさだけを表してプラス評価に用いられるこ

4) <https://dictionary.goo.ne.jp/word/%E5%87%84%E3%81%8F/>

ともある。

- (36) 去年12月、ANNアナウンサー賞の最優秀新人賞を獲得した。(中略)30歳にして新人とはいかがなものかと思われるだろうが、アナウンサー歴5年以内が対象で、私はギリギリ5年目だったのだ。何はともあれ受賞は光栄。だが同時に、ある感情が心をよぎったことを正直に吐露したい。「ひどく安堵(あんど)してしまったのだ。評価など二の次でプロの伝え手として愚直に仕事をするのみ!.....。そんな強気の姿勢を1年目から貫いていたつもりだったが、実際のところ承認欲求の塊に過ぎなかった。「爪痕」を残すことに固執していたが故の安堵である。 (朝日 2021.02.20.)

新人時代から他人からの評価より仕事で成果を挙げることを目指してきたと思っていたが、「「爪痕」を残すことに固執していたが故の安堵」のように、最優秀新人賞を獲得し、「爪痕」を残せたことに非常に安心した状態を表している。プラスの程度を表す場合なので、「すごく」に置き換えられるが、言い換えれば「安堵した」結果の程度を誇張的に表すことになる。「ひどく」が用いられることで、はなはだしく悪い状況ではなく、常識を越えた異常・特別であることを表し、「大変・とても」よりもっと程度の差を表せる。このように「ひどく」は、マイナスの意味はほとんどなく、プラスともいえるような形容詞の副詞的用法を持つ。

- (37) 戦時中は物が不足していた。主食は味がなく、水っまいサツマイモ。おかずは干した大根。空襲後はさらにひどくなった。 (朝日 2021.08.17.)
- (38) 過去の差別が、それどころか現在の不平等でさえも、政府のあからさまな人種的優遇政策を正当化するという考えは、自由主義的な価値に対する侮辱であり、そうした慣行が広まれば広まるほど、その侮辱は一層ひどくなるだろう。 (朝日 2021.05.21.)
- (39) 息子の慎吾が腰に違和感を覚えたのは小学4年生のときだった。最初は近所の接骨院や整形外科に足を運んだが、明確な理由がつかめなかったという。だんだん腰の痛みがひどくなり、「ベッドに寝ることができず、食卓のいすに腰かけて、頭を食卓に寝かせて寝ている時期もありました」。 (朝日 2021.08.23.)
- (40) 生まれつき病弱体質の上、異常な偏食だったので、親も長命は希(のぞ)んでいなかったようだ。短命に生まれついたのを哀れがり、わがままをつい許してしまうので、子の偏食は益々(ますます)ひどくなり、煮豆しか食べない子になってしまった。 (朝日 2021.05.13.)

「ひどい」は、程度副詞「さらに、一層、ますます」と変化や進行を表す「だんだん」などと「ひどくなる」の形で結びついて程度が段階的に増し加わったり減ったりする状態・さまを強調する例が多くみられる。

4.4 文体的な特質

「すごい」と「ひどい」は、『基礎日本語辞典』によると、「ひどい」「すごい」は口頭語なので、文章語としては避けたい。」と説明している。『小学館日本語新辞典』『日本国語大辞典』でも「口語」と記している。4.3節の「すごく」と「ひどく」が口頭語的表現、話し言葉、会話で用いられるなど説明されており、「すごい」と「ひどい」は文体的に口頭語であり、改まった場面では使われにくい。例えば、(30)の国連人権高等弁務官事務所からの客観的な指摘、(31)記事のタイトルである見出しに中立的な言い方で表した「はげしい」に「すごい」は置き換えにくい。

- (41) さて4月16日に、福井県は北陸新幹線開業に向けた県の魅力を発信するキャッチコピーに「地味にa. すごい、福井」を選定したと発表した。(中略) 全国一覧をみると王道路線のキラキラコピーが並び、いささか食傷する。そこへいくと、「地味にa. すごい、福井」はまさにその地味さにおいて斬新だ。本当の地域のお宝は、そこに住む人が地味ながらも「へえー、こんなものがb. すごいんだ」と驚き、それを残してくれた先祖に敬意を払い、地域をいっそう好きになる。
(朝日 2021.05.20.)

- (41) a.では、新幹線PRキャッチコピーに「地味にすごい、福井」が決定され、誇張した他地域のコピーと比べるとめだたなく落ち着いている「地味さ」がa.「すごい」と結びついて非常に驚くほど「地味さ」を強調し、「その地味さにおいて斬新」である意外性とb.地味なのに文化祭として認められるほどいいものであることに対して驚きの感情が表れている。

- (42) 「戦争ほどひどいことはない。平和を長く守ってほしい」
ペリリュー島で多くの戦友を失い、激しい戦いを生き抜いた永井さん。そのまなざしは、夏に取材した時よりいっそう鋭さが増したように感じてならなかった。(読売 2018.12.14.)
- (43) 飛騨川が氾濫するなど、記録的な豪雨から初の週末となった岐阜県下呂市では11日、多くのボランティアが被災地入りして復旧作業にあたった。しかし、再び激しい雨となり、気象庁などはこの日午前、下呂市に土砂災害警戒情報を発表。12日朝にかけて激しい雨が続

くとされることから、避難所に身を寄せる住民らは不安な一日を過ごした。(中略)8日夕から家族4人で近くの中学校体育館に避難している下呂市小坂町長瀬、主婦大林菜美さんは「早く帰宅したいが、いつ、またひどい雨が降るかわからない。じっとしているしかない」と不安そうだった。
(読売 2020.07.12.)

例(42)(43)のように、同じ内容ではあるが、「ひどい」は会話文で、「はげしい」は新聞の本文記事で用いられている。(42)「ひどい」は、「戦争」の残酷・無慈悲さに焦点をおいて主観的な感情が込められており、「はげしい」は、頻繁に起る戦いの程度が通常ではないことを感情を入れず記している。(43)では、記録的な豪雨に対して気象庁などの発表には「はげしい」が用いられ、雨による被害に対しての不安な気持ちを「ひどい」で表している。

5. おわりに

本稿では、韓国人日本語学習者の日本語の形容詞の語彙教育の一環として、程度の大きさを表す形容詞「すごい」「ひどい」「はげしい」の意味・用法を実例に基づいて比較・考察した。

三語の共通点は、動きのあるものと結び付いて程度の高さを表し、程度が尋常ではない、普通には考えられない、より甚だしいことを表す。

相違点をみると、第一に、「はげしい」は動きのあるものや動作性がある動詞と結び付いて、振幅のある動き、絶えない刺激、持続的な変化を表す動作性を持つ。第二に、「ひどい」は語源的な論理性が絡んでくることからマイナス評価に、「すごい」はぞっとするほど驚きや恐ろしさの気持ちが含まれるが、プラス・マイナス評価に用いられる。「はげしい」の動き・動作性には間接的にマイナス評価になる場合があるが、形容詞自体はニュートラルである。第三に、程度修飾に用いられる形容詞の副詞的用法に「すごく」「ひどく」があるが、辞書により副詞として別項目を立てるほど、程度の甚だしさを表す副詞として認められている。特に「ひどく」は、程度が段階的に移っていく状態・さまを表す場合、程度の甚だしさだけを表して「ひどい」が持つマイナス評価の意味が無くなる特徴が見られた。第四に、文体面で「すごい」は会話文に多く用いられ、日常語とも言われるほど口語的であり、「ひどい」も口語的である。

【参考文献】

<辞書類>

北原保雄編(2003)『明鏡国語辞典 初版』大修館書店
 西尾実・水谷静夫・岩淵悦太郎編(2000)『岩波国語辞典 第六版』岩波書店
 日本国語大辞典編集委員会(2003)『日本国語大辞典 第二版』小学館
 飛田良文・浅田秀子著(1994)『現代形容詞用法辞典』東京堂出版
 松井栄一編(2005)『小学館日本語新辞典 初版』小学館
 森岡健二・徳川宗賢・星野晃一・中村明・川端善明編(2000)『集英社国語辞典 第二版』集英社
 『デジタル大辞泉』小学館(<https://dictionary.goo.ne.jp/>)

<論文>

오현정(2013)「고등학교 일본어교과서의 문형변천-이형용사 활용형을 중심으로-」『일본어학연구』38, 한국일본어학회, pp.105-119
 장근수(2018)「일본어 형용사 활용표의 변천 과정에 관한 고찰-고등학교 일본어 교과서를 대상으로-」『일본어교육연구』45, 한국일본어교육학회, pp.129-143
 조영남(2018)「한국인 일본어학습자의 ‘나형용사’의 사용양상-4개월간의 초급작문을 자료로 하여-」『日本語文学』79, 韓国日本語学会, pp.141-159
 _____(2019)「초급 일본어학습자 작문에 나타난 나형용사의 발달과정-나형용사의 종류 및 연체형을 중심으로-」『日本語教育』90, 한국일본어교육학회, pp.63-76
 王崗・方韻(2015)「若者ことばの文法性と非文法性の表現」『日本学刊』第18号
 金英兒(2017)「日韓両国語の聴覚形容詞の研究:類義語における語彙教育の立場から」『동북아문화연구』52, 동북아시아문화학회, pp.349-365
 _____(2018)「類義語「いそがしい、せわしい、あわただしい」の意味・用法」『일본문화학보』79, 한국일본문화학회, pp.261-278
 佐野由紀子(2018)「日常会話における「程度の甚だしさを表す副詞」の使用実態について - 性差の観点から -」『国際社会文化研究』第19号、高知大学人文社会科学部人文社会科学科国際社会コース、pp.83-94
 孫琦(2016)「日常会話における形容詞「すごい」の程度強調用法」『談話資料日常生活のことば』つじ書房、pp.91-106
 曹英南(2016)「韓国人日本語学習者の「イ形容詞」の使用と教師によるフィードバックの影響-4ヶ月間の初級作文資料をデータとして-」『日本語文学』69, 韓国日本語学会, pp.89-106
 中尾比早子(2014)「程度副詞「すごい」の使用実態」『Nagoya linguistics』8、名古屋大学言語研究会、pp.85-98
 玄仙令(2021)「コミュニケーション能力向上のための日本語形容詞・形容動詞の使用傾向分析 - 第三者の属性に対する評価・判断の言い方を中心に -」『日本語教育研究』55권, 韓国日語教育学会, pp.133-147
 増井典夫(1996)「否定と呼応する副詞と程度副詞についての覚書(1)」『愛知淑徳大学現代社会学部論集』創刊号, pp.1-9
 Sachiko Mori(2011)“The Language of Young People and its Implications for Teaching”, OTB Forum, 4(1), pp.46-49.

논문투고일 : 2021년 12월 31일
 심사개시일 : 2022년 01월 16일
 1차 수정일 : 2022년 02월 08일
 2차 수정일 : 2022년 02월 21일
 게재확정일 : 2022년 02월 22일

<要旨>

程度の大きさを表す形容詞に関する一考察

- 「すごい」・「ひどい」・「はげしい」を中心に -

金英児

本稿では、韓国人日本語学習者の日本語の形容詞の語彙教育の一環として、程度の大きさを表す形容詞「すごい」「ひどい」「激しい」の意味・用法を実例に基づいて比較・考察した。

三語の共通点は、動きのあるものと結び付けて程度の高さを表し、程度が尋常ではない、普通には考えられない、より甚だしいことを表す。

相違点をみると、第一に、「ひどい」は語源的な論理性が絡んでくることからマイナス評価に、「すごい」はぞっとするほど驚きや恐ろしさの気持ちが含まれるが、プラス・マイナス評価に用いられる。「はげしい」の動き・動作性には間接的にマイナス評価になる場合があるが、形容詞自体はニュートラルである。第二に、「はげしい」は動きのあるものや動作性がある動詞と結び付けて、振幅のある動き、絶えない刺激、持続的な変化を表す動作性を持つ。第三に、文体面で「すごい」は会話文に多く用いられ、日常語とも言われるほど口語的であり、「ひどい」も口語的である。第四に、程度修飾に用いられる形容詞の副詞的用法に「すごく」「ひどく」があるが、辞書により副詞として別項目を立てるほど、程度の甚だしさを表す副詞として認められている。特に「ひどく」は、程度が段階を移っていく状態・さまを表す場合、程度の甚だしさだけを表して「ひどい」が持つマイナス評価の意味が無くなる特徴が見られた。

A Study of Degree-denoting Synonymous Adjectives

- Focussing on Sugoi, Hidoi, and Hageshii -

Kim, Young-Ah

In the present article, I analyse the meanings and actual usages of three degree-denoting adjectives, sugoi, hidoi, and hageshii, for the purpose of advancing the vocabulary teaching of Japanese adjectives for Korean learners.

All of the three adjectives combine with a motion-denoting expression and signify that the degree of some sort is unusually and significantly high.

On the other hand, they exhibit several differences as well. First, due to its etymological nature, hidoi conveys a speaker's negative evaluation, but sugoi, which expresses a horrified surprise or fear, may be used for both positive and negative evaluations. Hageshii itself is neutral to the types of evaluation, but it may indirectly convey a negative evaluation when it is concerned with a motion. Second, hageshii combines with a motion-denoting verb and takes on an actional meaning concerning an oscillating motion, a continuous stimulus, or an incessant change. Third, stylistically speaking, sugoi is frequently used in conversation and regarded as a colloquial expression, as in the case of hidoi. Finally, the degree-modifying adjectives sugoi and hidoi have adverbial forms, sugoku and hidoku, and these forms have been widely established as degree-denoting adverbials; they have entries in dictionaries. In particular, when hidoi is used for a state-of-affairs with a gradually elevating degree of some sort, it only conveys that the degree is significant and no longer expresses a negative evaluation that is inherently associated with hidoi.